

自社の経営状況診断ができる 経営自己診断システム

中小企業基盤整備機構(中小機構)が提供する「経営自己診断システム」は、登録不要で利用ができる無料の中小企業向け経営状況診断ツールです。今回は、その概要と特徴を簡単にまとめます。

■経営自己診断システムとは

決算書の財務情報をもとに、多角的な視点から自社の強みや課題を把握し、経営状態を診断できるオンライン経営分析ツールです。200万社以上の中小企業の財務データを活用し、同業他社との比較を通じて、自社の業界内での立ち位置や課題を把握できます。

■主な診断内容(3つの分析)

1. 総合分析

「収益性」「効率性」「生産性」「安全性」「成長性」
(前年指標を入力した場合)の5項目を総合的に評価。



2. 個別指標分析

5項目・27の個別指標毎に、同業他社との比較を行い、
自社の強み・弱みを明確化。
※詳細な指標については中小機構の公式HPをご確認ください。



3. 倒産リスク分析

安全性に関する10指標をもとに、貴社の値とデフォルト(倒産)
企業の値を比較し、倒産リスクを「安全ゾーン」「警戒ゾーン」
「危険ゾーン」の3段階でリスク分析。



経営自己診断システムは、中小企業の経営者が自社の現状を客観的に把握し、改善のヒントを得るためのツールです。決算後の経営状況の確認や、社内会議での資料作成、経営改善のきっかけづくりなど、日々の経営判断や将来の方針を考えるうえで、ひとつの参考材料としてご活用いただけます。

具体的な利用方法や個別指標内容、診断結果確認方法等、詳細は公式サイトからご確認ください。

▶ 中小機構 経営自己診断システム公式サイト <https://k-sindan.smrj.go.jp/>